

# 第3回あきた白神青果物25億円販売



齊藤指導員が撮影した  
実際に畝間を疾走する様子は  
QRコードを読み取りご覧ください！



## 白神山うど

### 面積拡大のための省力化対策

◎乗用除草機の活用で  
初期除草スピードUP!!

株間除草は、重労働の一つ。通路は除草剤や中耕で除草することが可能だが、株間は手取りしなくてはならないのが現状な上、除草時期が田植え期と重なることから、初期除草作業が遅れてしまう生産者も少なくない。

この初期除草を怠ると、株の肥大に影響を及ぼしてしまい、生育・収穫期にまで影響が出てしまいます。

そこで、山うど部会桜田部会長が(株)キユーホーの除草機を利用した株間除草を実践してみたところ、省力化を図ることが出来ました。

今後は、農業機械課と連携しながら、中古田植え機を再利用した、独自の乗用除草機を部会内で普及できないか検討していきます。

## 『コロナ禍の影響で、消費者は品質に これはチャンス!! これまで以上に高品質 全国での白神ブラ



## 白神きゃべつ

### 販売額1億円を目指して

年間を通じて収穫できる作物として推進していくことで、契約出荷量を増やして相場に左右されにくい価格形成を目指していきます。また、圃場条件・栽培体系を考慮した管理指導を随時行い、収量及び品質の向上さらには面積拡大を図ります。



秋冬きゃべつは日持ちのする「あさしお」と「YCRこんごう」の作付けを推進するとともに、ねぎ+きゃべつのネットワーク型メガ団地が本格稼働し、収穫機をフル活用することで、2〜3年後には約10ha作付け面積が拡大します。これにより、価格の安定した加工用契約出荷（鉄コンテナ）の更なる販売強化とともに、冬期間の収入源として2月中旬頃までの雪中きゃべつの販売を強化していきます。